

7章 各国の国際標準化機関への提案 手続きフロー (デジュール標準) (第7版)

本章では、ITU及びISO、IEC、JTC1の国際デジュール標準について、各国からのITU-T、ITU-R、ISO/IEC JTC1への標準化提案の手続きフローを紹介する。

7 各国の国際標準化機関への提案手続きフロー

目次

7-1 デジタル標準化機関

7-1-1 ITU

7-1-2 ISO、IEC、ISO/IEC JTC1

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジタル標準)

7-2-1 日本

7-2-2 中国

7-2-3 韓国

7-2-4 米国

7-2-5 フランス

7-2-6 ドイツ

7-2

各国の標準化手続きフローの目次構成を示す。

最初にデジタル標準化機関であるITU及びISO、IEC、ISO/IEC JTC1への概要について説明する。次に各国のITU及びISO/IEC JTC1への標準化手続きフローについて、日本、中国、韓国、米国、フランス、ドイツについて紹介します。

7-1 デジタル標準化機関

7-1-1 ITU

- ITUは、国際連合 (UN) の専門機関の一つで、周波数監理・衛星軌道割当てと無線通信の国際標準化を行う無線通信部門 (ITU-R)、有線通信、ネットワーク及び電気通信サービスの国際標準化を行う電気通信標準化部門 (ITU-T)、電気通信サービスの世界的普及を目的として途上国支援を行う電気通信開発部門 (ITU-D) の3部門からなる。
- 企業、大学、研究機関も標準化会議へセクタメンバやアソシエートメンバとして参加・提案できるが、UNの機関であり、最終決定の投票はメンバステート (国 (主管庁)) 単位である。従って、各ITU構成国の各国内にはITUへの提案や最終判断するための手続きなどがある。
- ITUの全権委員会 (PP) の決議58等において地域でのシナジー効果や地域の開発を促進するため、各地域組織の形成が決議されており、6つの地域グループがあり、ITU、ITU-R、T、D等の全体会議において各地域単位で共同提案等が行われる。

7 - 3

国際電気通信連合: ITU (International Telecommunication Union) の詳細は、標準化教育テキストの2-1-1を参照のこと。

電気通信標準化部門: ITU-T (ITU-Telecommunication Standardization Sector) の詳細は、標準化教育テキストの2-1-1-1を参照のこと。

無線通信部門: ITU-R (ITU-Radiocommunication Sector) の詳細は、標準化教育テキストの2-1-1-2を参照のこと。

電気通信開発部門: ITU-D (ITU-Development Sector) の詳細は、標準化教育テキストの2-1-1-3を参照のこと。

PP (Plenipotentiary Conference) 全権委員会

地域グループ

- **APT** (Asia-Pacific Telecommunity)
アジア・太平洋電気通信共同体 (アジア地域、アジア・太平洋地域: 38カ国)
- **CEPT** (European Conference of Postal and Telecommunications Administrations)
欧州郵便通信主管庁会議 (欧州、ヨーロッパ地域: 48カ国)
- **CITEL** (Inter-American Telecommunications Commission)
インターアメリカ電気通信委員会 (米州、南北アメリカ地域: 35カ国)
- **ATU** (African Telecommunications Union)
アフリカ電気通信連合 (アフリカ地域、アフリカ諸国: 46カ国)
- **LAS** (League of Arab States)
アラブ電気通信連合 (アラブ地域、アラブ諸国: 21カ国)
- **RCC** (Regional Commonwealth in the field of Communications)
電気通信地域連邦 (ロシアを中心とした旧ソ連の組織、ロシア地域: 12カ国)
(CIS (Commonwealth of Independent States) (独立国家共同体))と表記する場合もあります。)

7-1 デジタル標準化機関

7-1-2 ISO、IEC、ISO/IEC JTC1

- ISOは、工業分野(電気・電子、電気通信分野を除く)の国際標準を策定する機関である。
- IECは、電気・電子分野の国際標準を策定する機関である。
- ISO/IEC JTC1は、ISOとIECが合同して、情報技術分野の国際標準を策定する組織である。
(注：ISO/IEC JTC1は以下は、JTC1と記載する。)
- ISO、IEC、JTC1への各国からの参加は1機関のみしかできないことになっており、各参加国は1つの機関を登録し、各国の参加者はその機関の一員として標準化会議に参加する。ISO、IEC、JTC1には、標準化技術領域毎にTC (Technical Committee) やSC (subCommittee) が構成されている。

7 - 4

国際標準化機構: ISO (International Organization for Standardization) の詳細は、標準化教育テキストの2-1-2を参照のこと。

国際電気標準会議: IEC (International Electrotechnical Commission) の詳細は、標準化教育テキストの2-1-3を参照のこと。

第一合同技術委員会: ISO/IEC JTC1 (ISO/IEC Joint Technical Committee 1) の詳細は、標準化教育テキストの2-1-4を参照のこと。

欧州には、CEN、CENELECがあり、ISO、IECへはCEN、CENELECからの提案もある。

欧州標準化委員会: CEN (Comité Européen de Normalisation (仏語), European Committee for Standardization (英語))

欧州地域の地域標準化機関(電気と通信以外の標準)。

1991年にISOとCENの間で規格開発における相互の技術協力のウィーン協定 (ISO/CEN技術協力協定) を締結している。

この協定により、CENはISOへ国際規格 (ISO) 原案の作成が認められている。

欧州電気標準化委員会: CENELEC (Comité Européen de Normalisation Electrotechnique (仏語), European Committee for Electrotechnical Standardization (英語))

欧州地域の電気分野の地域標準化機関。

IECとCENELECは新業務及び並行投票の共同立案に関するルガノ協定 (第一次IEC/CENELEC協力協定) を1991年に締結し、1996年にドレスデン協定として改定されている。

この協定によりCENELECはIECへ新規規格の提案と開発の発案が認められている。

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-1 日本 (ITUへの提案 (1/2))

- 日本ではITUは総務省が担当。
- 総務省の情報通信審議会傘下のITU部会の各委員会でITU-T, ITU-Rへの日本寄書などの審議を実施。
- また、標準化団体のTTC (ITU-T対応)、ARIB (ITU-R対応)、JCTEA (ITU-T SG9) においてITU-Tメンバーのキャリア、ベンダ等でITUへの提案内容の検討及びITU標準の国内標準化作業を実施。
- 日本のITUへの標準化フローは次ページを参照。

7 - 5

総務省Webサイト 情報通信技術の標準化ホームページ

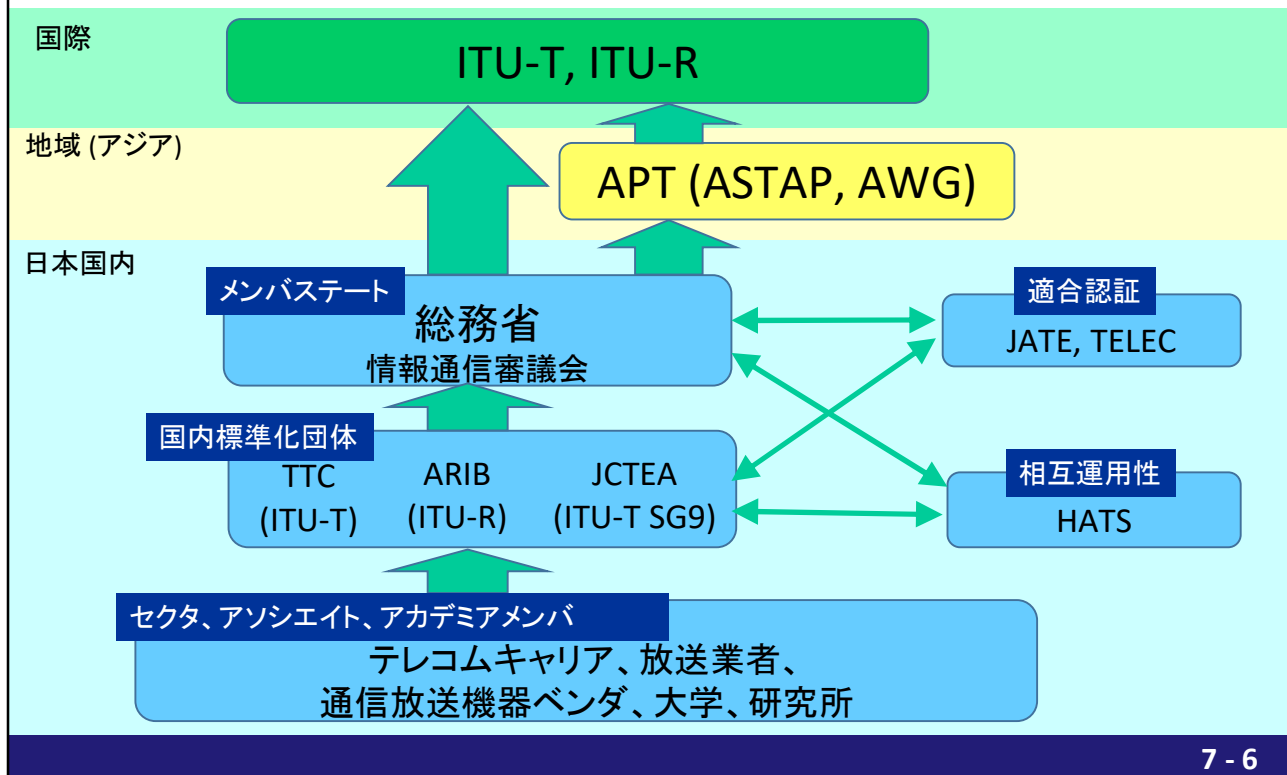
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/hyojun/index.html

総務省Webサイトの情報通信審議会のページ

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/policyreports/joho_tsusin/index.html

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-1 日本 (ITUへの提案 (2/2))



7 - 6

国際

ITU-T: International Telecommunication Union - Telecommunication Standardization Sector

ITU-R: International Telecommunication Union - Radiocommunication Sector

地域 (アジア)

アジア・太平洋電気通信共同体: APT (Asia-Pacific Telecommunity)

アジア・太平洋電気通信標準化機関: ASTAP (Asia-Pacific Telecommunity (APT) Standardization Program)

アジア・太平洋電気通信共同体無線グループ: AWG (Asia-Pacific Telecommunity (APT) Wireless Group)

日本国内

総務省: MIC (Ministry of Internal Affairs and Communications)

情報通信審議会: ICC (The Information and Communication Council of MIC)

情報通信技術委員会: TTC (Telecommunication Technology Committee)

電波産業会: ARIB (Association of Radio Industries and Businesses)

日本CATV技術協会: JCTEA (Japan Cable Television Engineering Association)

HATS推進会議: HATS conference (Harmonization of Advanced Telecommunication Systems conference)

電気通信端末機器審査協会: JATE (Japan Approvals Institute for Telecommunications Equipment)

テレコムエンジニアリングセンター: TELEC (Telecom Engineering Center)

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-1 日本 (JTC1への提案 (1/2))

- 日本ではISO、IEC、JTC1は経済産業省が担当。
- 経産省の審議会であるJISCがISO、IEC、ISO/IEC JTC1の日本の参加機関として登録。
- ISO、IEC、ISO/IEC JTC1のTC、SCの各技術項目毎に日本国内の審議委員会を設置。
(関連する工業会や学会に審議委員会が設置。)
- 優れた新技術の提案には、従来の業界団体を通じたコンセンサス形成を経ずに迅速な国際標準提案やJIS化が可能な“新市場創造型標準化制度”が2014年に創設。
- 日本のJTC1への標準化フローは次ページを参照。

7 - 7

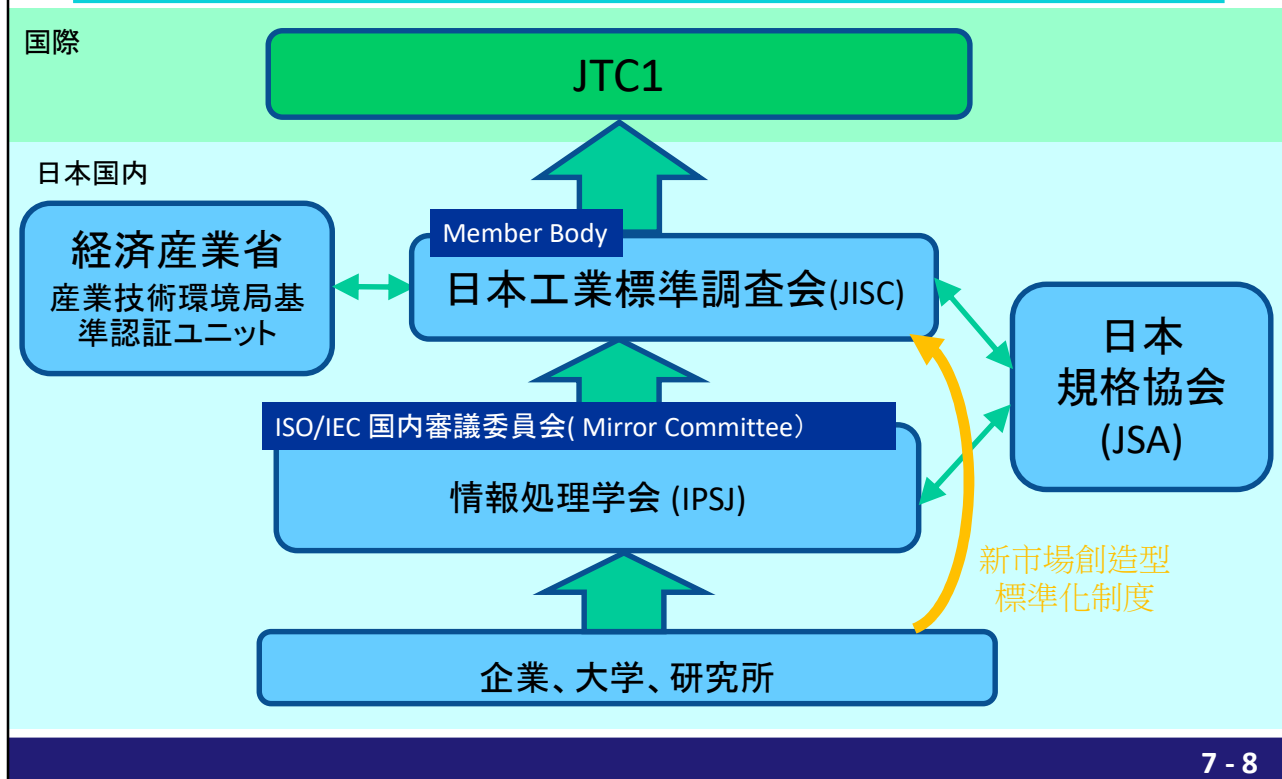
経済産業省Webサイト 標準化・認証のページ <https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun-kijun/index.html>

JISC (Japanese Industrial Standards Committee:日本工業標準調査会) <https://www.jisc.go.jp/>

新市場創造型標準化制度 (経済産業省の下記のURLを参照)
<https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun-kijun/katsuyo/shinshijo/index.html>

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-1 日本 (ISO/IEC JTC1への提案 (2/2))



7 - 8

国際

ISO: International Organization for Standardization

IEC: International Electrotechnical Commission

JTC1: Joint Technical Committee 1

日本国内

経済産業省: METI (Ministry of Economy, Trade and Industry)

産業技術環境局基準認証ユニット (Industrial Science and Technology Policy and Environment Bureau, Technical Regulations, Standards and Conformity Assessment Unit)

日本工業標準調査会: JISC (Japanese Industrial Standards Committee)

日本規格協会: JSA (Japanese Standards Association)

ISO/IEC JTC1国内審議委員会 (Mirror Committee)

ISO/IEC JTC1 SC27 (セキュリティ技術: IT Security techniques)

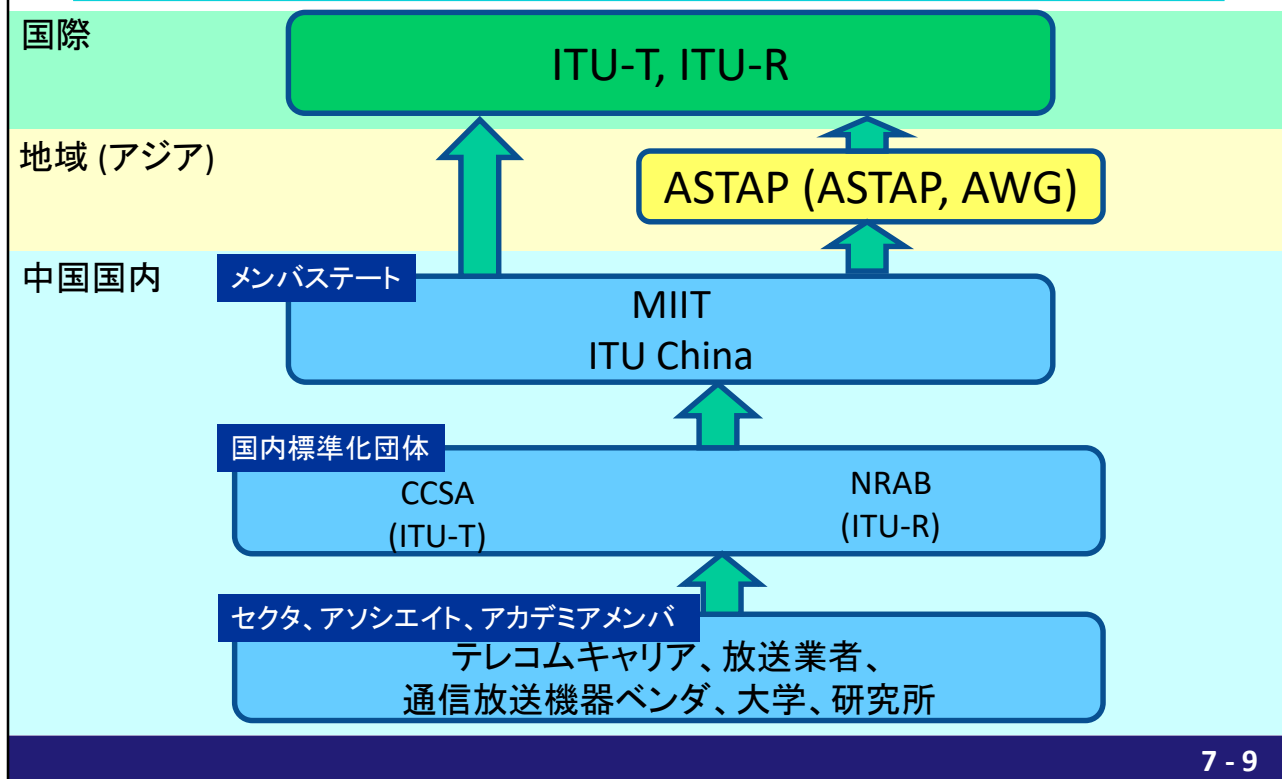
→ 情報処理学会: IPSJ (Information Processing Society of Japan)

ISO/IEC JTC1 SC29 (音声、画像、マルチメディア、ハイパーメディア情報符号化: Coding of audio, picture, multimedia and hypermedia information)

→ 情報処理学会: IPSJ (Information Processing Society of Japan)

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-2 中国 (ITUへの提案)



国際

ITU-T: International Telecommunication Union - Telecommunication Standardization Sector

ITU-R: International Telecommunication Union - Radiocommunication Sector

地域 (アジア)

アジア・太平洋電気通信共同体: APT (Asia-Pacific Telecommunity)

アジア・太平洋電気通信標準化機関: ASTAP (Asia-Pacific Telecommunity (APT) Standardization Program)

アジア・太平洋電気通信共同体無線グループ: AWG (Asia-Pacific Telecommunity (APT) Wireless Group)

中国国内

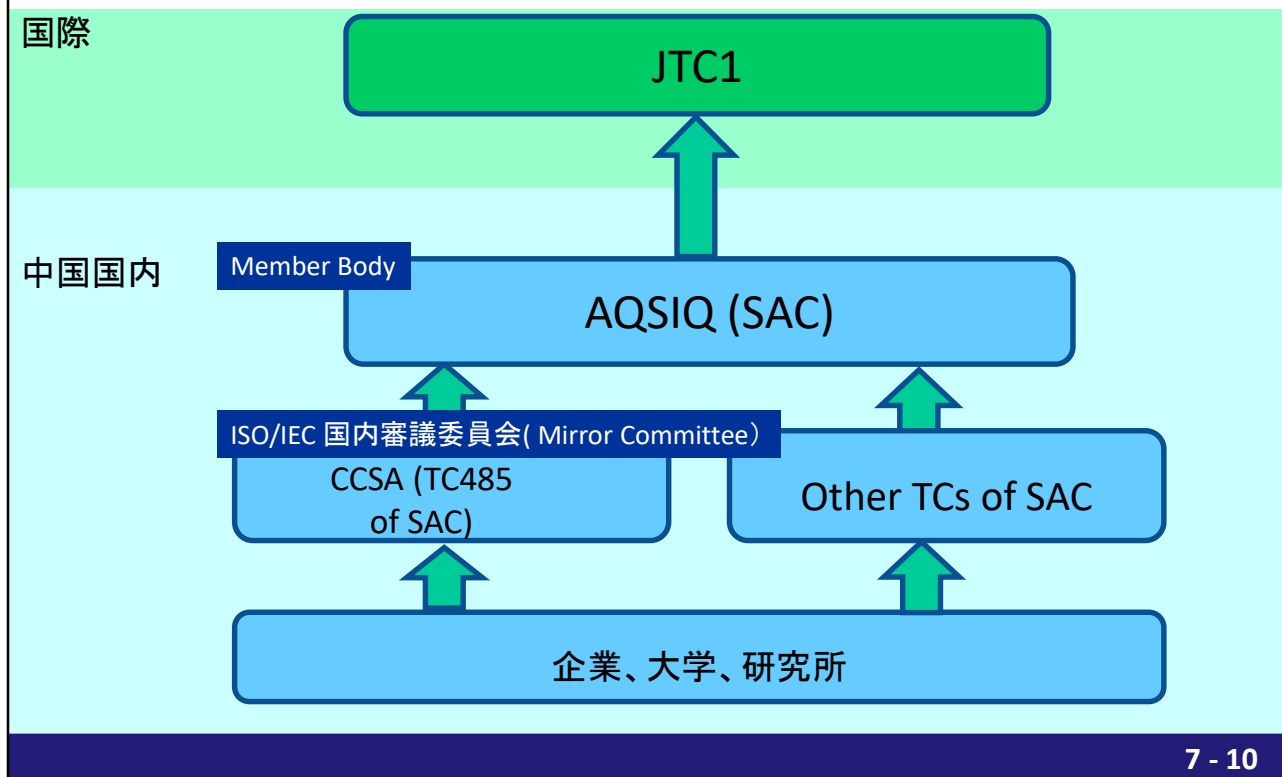
産業情報技術省: MIIT (Ministry of Industry and Information Technology)

国家無線管理局: NRAB (National Radio Administration Bureau of MIIT, P.R.C.)

中国通信標準化協会: CCSA (China Communications Standards Association)

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-2 中国 (ISO/IEC JTC1への提案)



7 - 10

国際

ISO: International Organization for Standardization
IEC: International Electrotechnical Commission
JTC1: Joint Technical Committee 1

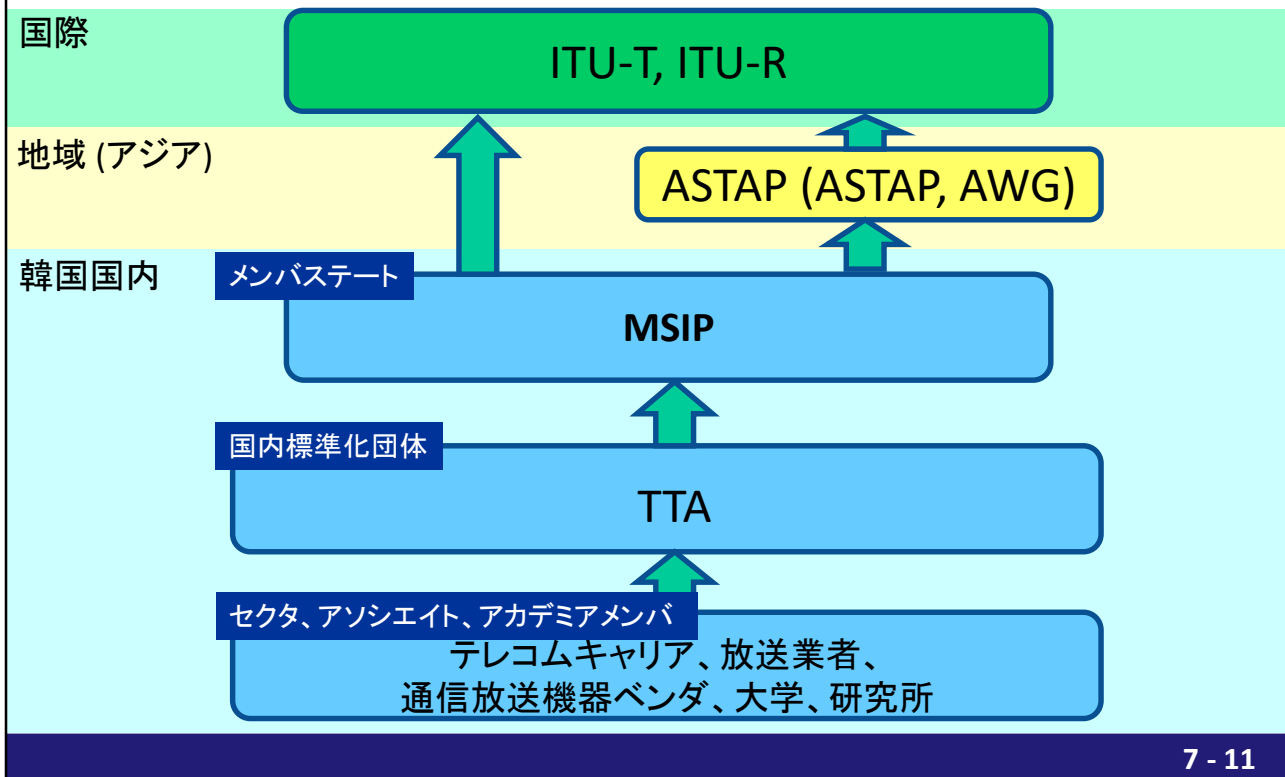
中国国内

国家質量監督檢驗檢疫総局: AQSIQ (General Administration of Quality Supervision, Inspection and Quarantine of P.R.C.)
国家標準化管理委員会: SAC (Standardization Administration of P.R.C.)
中国通信標準化協会: CCSA (China Communications Standards Association)

SAC傘下に中国の標準規格制定を主管するTC (技術委員会) があり、TC485は通信に関する技術委員会である。
(ISO、IECのTC番号とは一致していない。)

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-3 韓国 (ITUへの提案)



国際

ITU-T: International Telecommunication Union - Telecommunication Standardization Sector

ITU-R: International Telecommunication Union - Radiocommunication Sector

地域 (アジア)

アジア・太平洋電気通信共同体: APT (Asia-Pacific Telecommunity)

アジア・太平洋電気通信標準化機関: ASTAP (Asia-Pacific Telecommunity (APT) Standardization Program)

アジア・太平洋電気通信共同体無線グループ: AWG (Asia-Pacific Telecommunity (APT) Wireless Group)

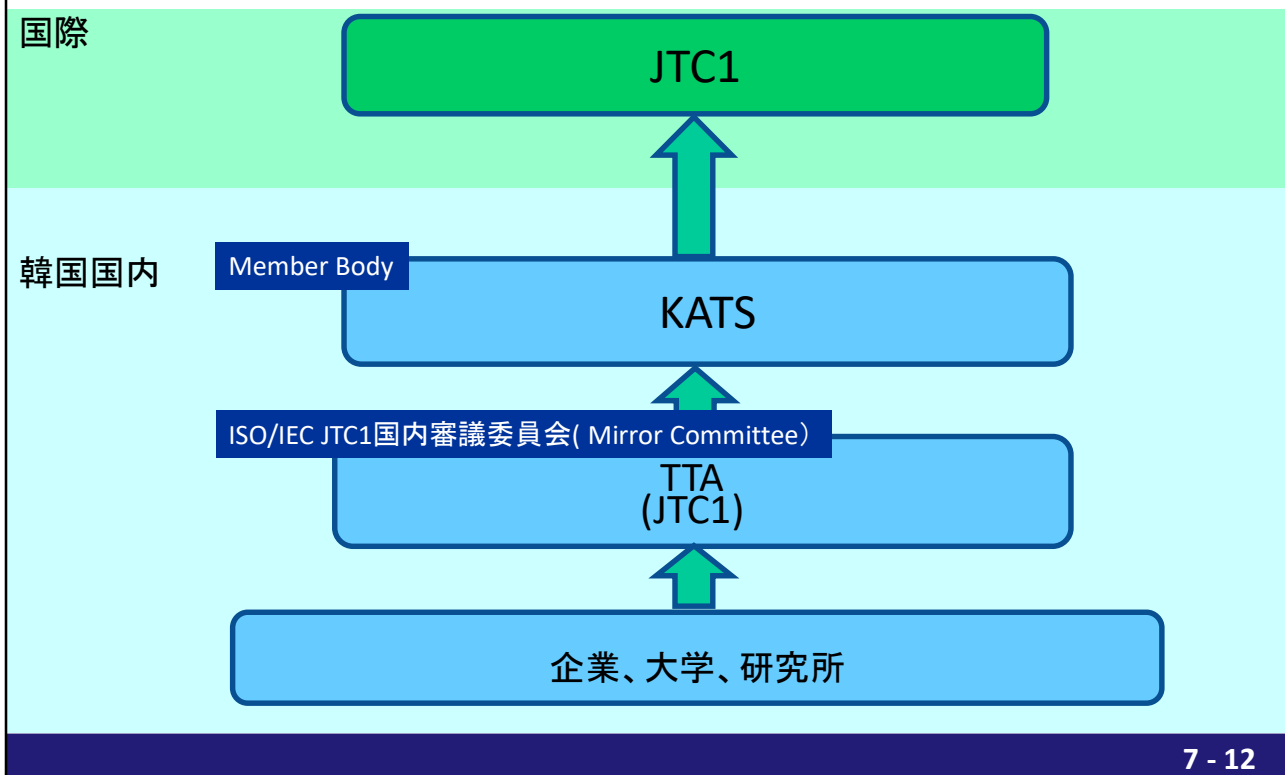
韓国国内

韓国未来創造科学部: MSIP (Ministry of Science, ICT and Future Planning)

韓国情報通信技術協会: TTA (Telecommunications Technology Association)

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-3 韓国 (ISO/IEC JTC1への提案)



国際

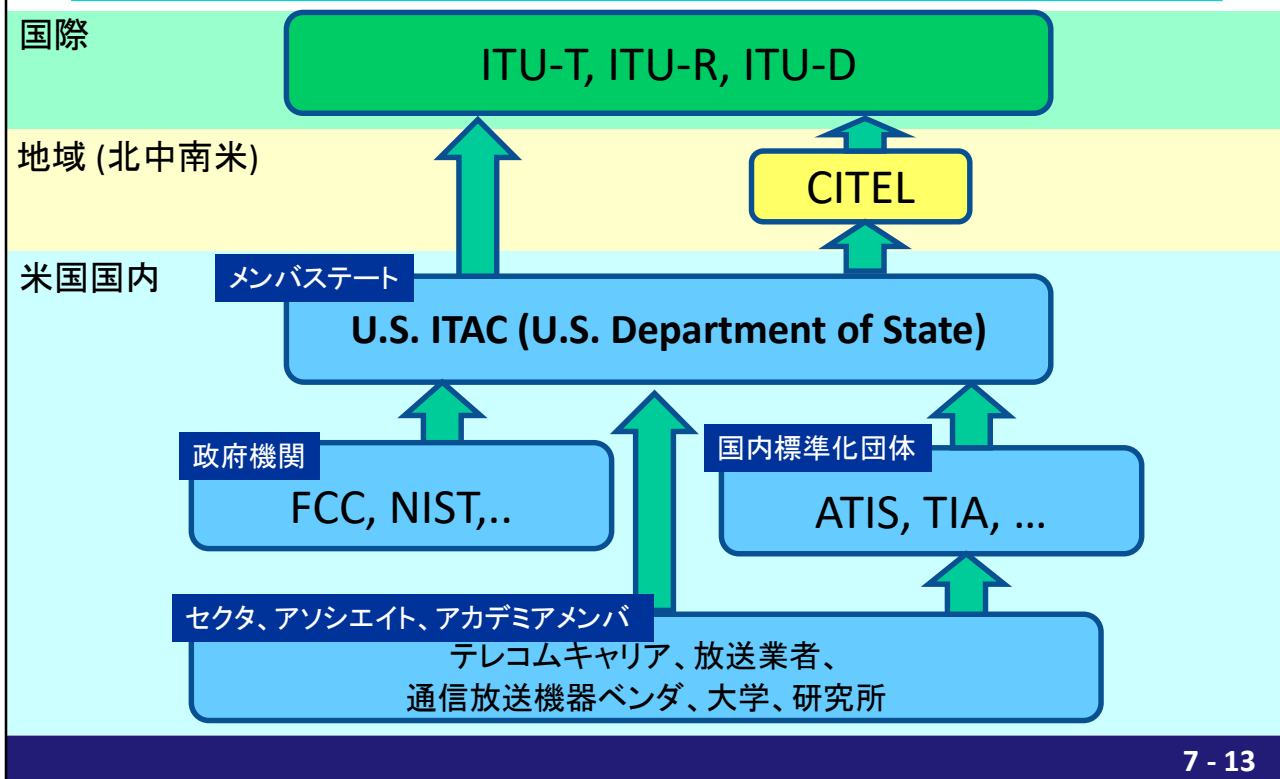
ISO: International Organization for Standardization
IEC: International Electrotechnical Commission
JTC1: Joint Technical Committee 1

韓国国内

韓国技術標準局: KATS (Korean Agency for Technology and Standards)
韓国情報通信技術協会: TTA (Telecommunications Technology Association)

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-4 米国 (ITUへの提案)



国際

ITU-T: International Telecommunication Union - Telecommunication Standardization Sector

ITU-R: International Telecommunication Union - Radiocommunication Sector

地域 (北中南米)

インターアメリカ電気通信委員会: CITEL (Inter-American Telecommunication Commission)

米国国内

U.S. Department of State: 米国国務省

U.S. ITAC: United States International Telecommunication Advisory Committee

ITACにはITU-T, ITU-R, ITU-Dに対応した3つのセクタがあり、さらにその中にstudy groupがある。

ITAC-T, ITAC-D, ITAC-R

ATIS: Alliance for Telecommunications Industry Solutions

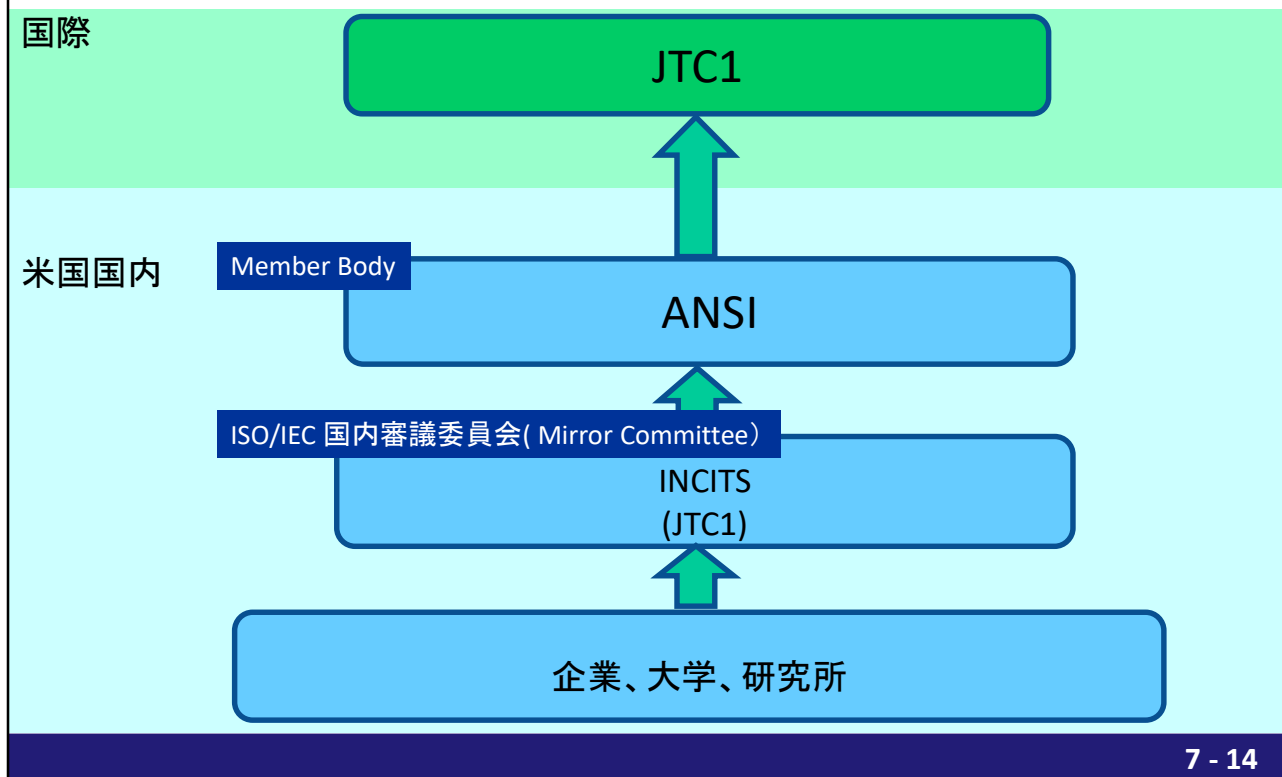
TIA: Telecommunications Industry Association

FCC: Federal Communications Commission

NIST: National Institute of Standards and Technology

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-4 米国 (ISO/IEC JTC1への提案)



国際

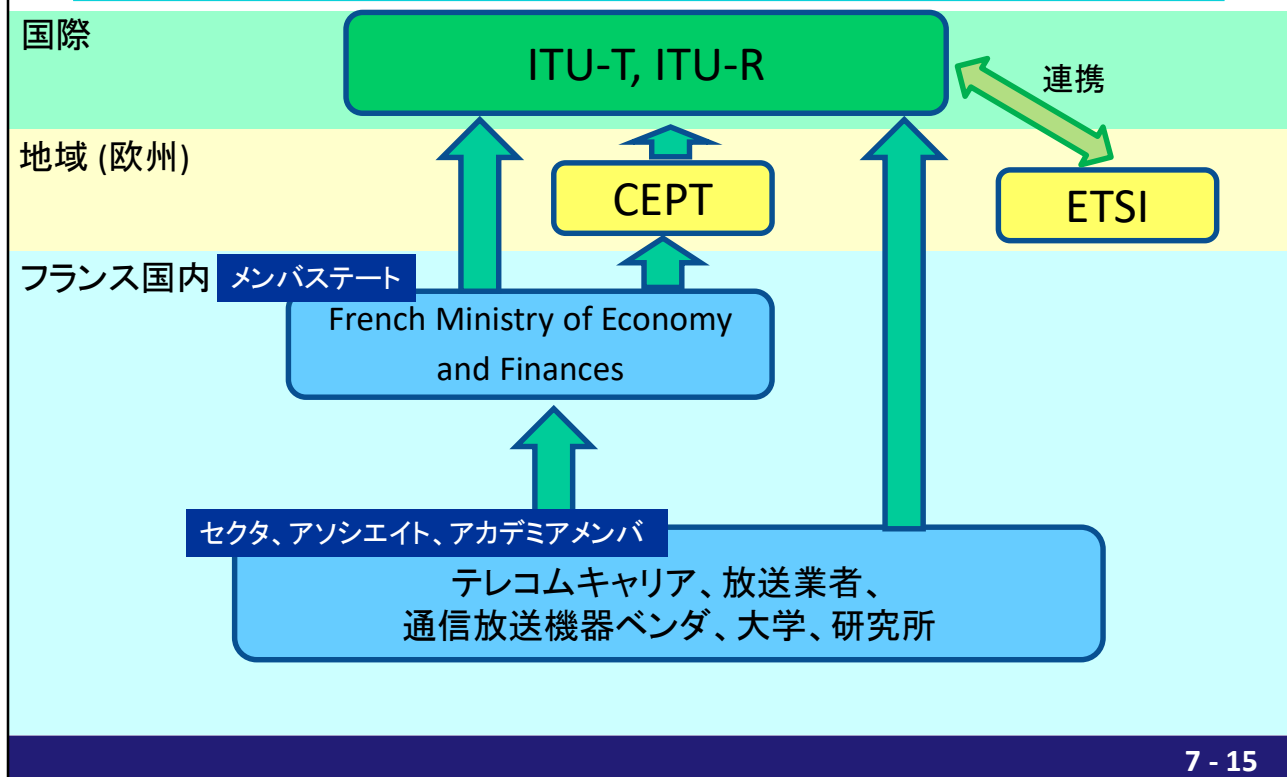
ISO: International Organization for Standardization
IEC: International Electrotechnical Commission
JTC1: Joint Technical Committee 1

米国国内

ANSI: American National Standards Institute
INCITS: InterNational Committee for Information Technology Standards

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-5 フランス (ITUへの提案)



国際

ITU-T: International Telecommunication Union - Telecommunication Standardization Sector

ITU-R: International Telecommunication Union - Radiocommunication Sector

地域 (欧州)

欧州郵便通信主管庁会議: CEPT (European Conference of Postal and Telecommunications Administrations)

欧州電気通信標準化機構: ETSI (European Telecommunications Standards Institute)

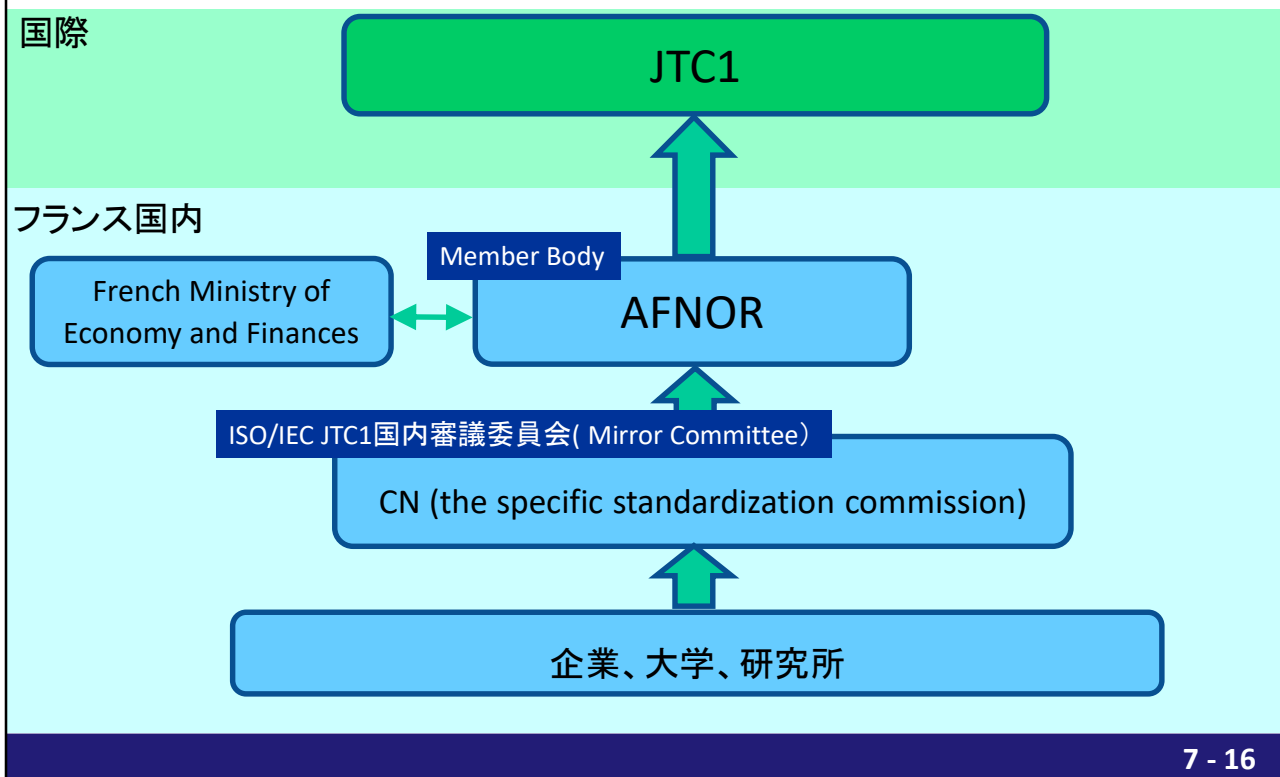
フランス国内

フランス国内では経済・財務省が電気通信に関してに責任を持っている。

フランス国内のITUメンバのアドホック会合は経済・財務省で開催される。定期的なフランス国内の会合は現在開催されておらず、フランスのITUメンバ企業等は直接ITUへ寄書等を提出している。

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-5 フランス (ISO/IEC JTC1への提案)



7 - 16

国際

ISO: International Organization for Standardization

IEC: International Electrotechnical Commission

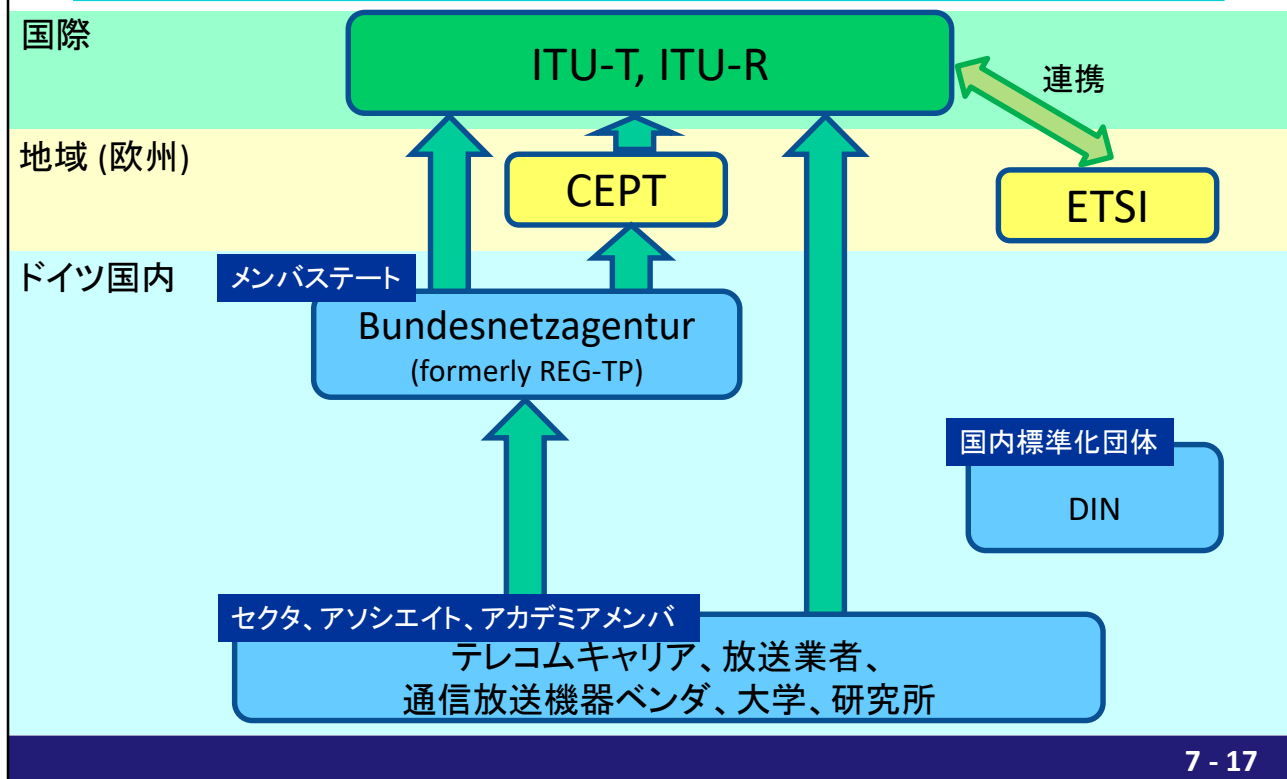
JTC1: Joint Technical Committee 1

フランス国内

AFNOR: Association française de normalization (French Standardization Association)

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-6 ドイツ (ITUへの提案)



国際

ITU-T: International Telecommunication Union – Telecommunication Standardization Sector

ITU-R: International Telecommunication Union – Radiocommunication Sector

地域 (欧州)

欧州郵便通信主管庁会議: CEPT (European Conference of Postal and Telecommunications Administrations)

欧州電気通信標準化機構: ETSI (European Telecommunications Standards Institute)

ドイツ国内

Bundesnetzagentur: Federal Agency for Electricity, Gas, Telecommunications, Post and Railway

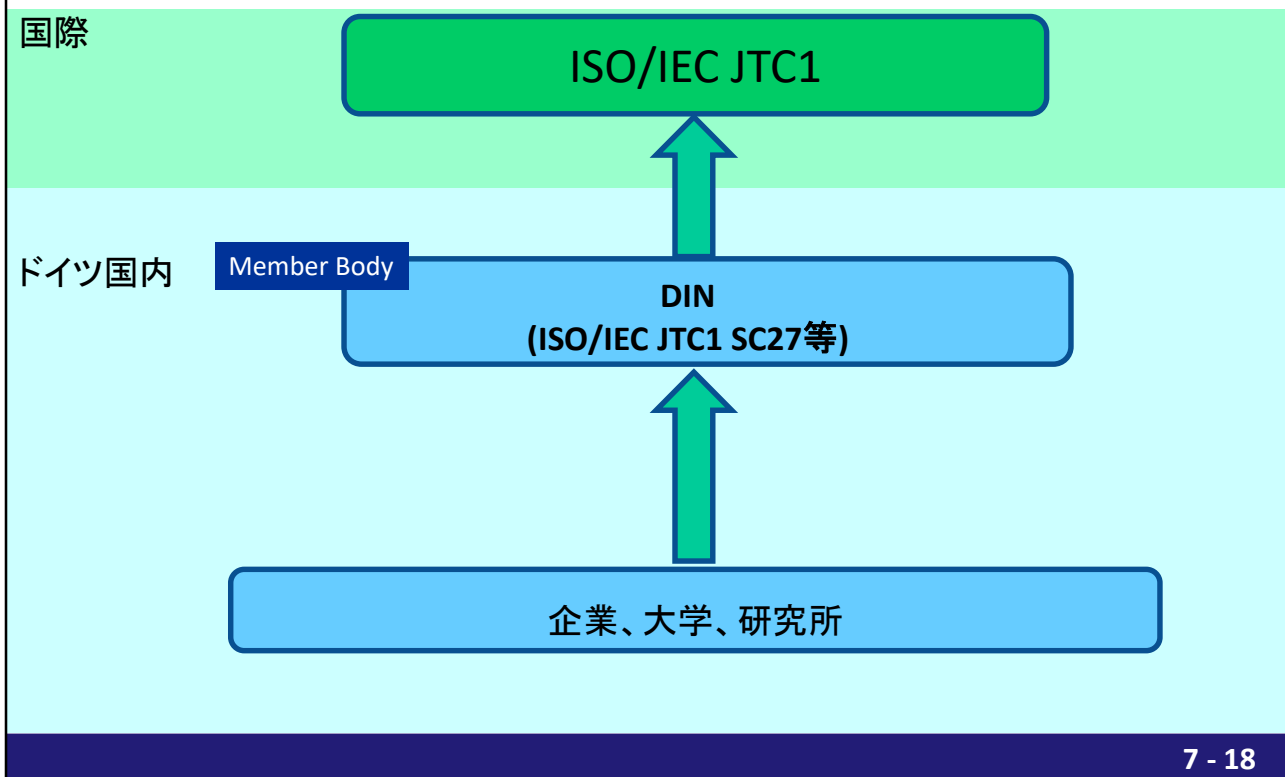
DIN: German Institute for Standardization

ドイツではITU対応に関してはBundesnetzagenturが責任を持っているが、企業等は企業の意見を直接ITUへ提案することが認められている。

ドイツ国内の標準化組織にDINがあるが、ITUへの標準化提案のプロセスには含まれない。欧州地域の標準化組織にETSIがあるが、ITUへの標準化提案のプロセスには含まれない。

7-2 各国の国際標準化手続きフロー (デジュール標準)

7-2-6 ドイツ (JTC1への提案)



国際

ISO: International Organization for Standardization
IEC: International Electrotechnical Commission
JTC1: Joint Technical Committee 1

ドイツ国内

DIN: German Institute for Standardization

ISO/IEC JTC1 SC27: セキュリティ技術